

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価規準
1 学 期	4	なかよしのき	【知技】姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。
			【思判】「読むこと」において，場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えている。
			【主体】進んで場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉え，学習の見通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。
	5	けむりの きしゃ	【主体】進んで平仮名を読んだり書いたりし，学習課題にそって言葉を書こうとしている。
			【知技】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
			【思判】「読むこと」において，場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えている。
	6	すずめの くらし	【主体】進んで場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉え，学習の見通しをもって登場人物に手紙を書こうとしている。
			【主体】積極的に長音の表記の仕方を理解し，学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。。
			【知技】長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。
2 学 期	8・9	けんかした 山	【思判】「書くこと」において，経験したことや想像したことなどから書くことを見付け，必要な事柄を集めたり確かめたりして，伝えたいことを明確にしている。
			【知技】長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。
			【知技】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。
	#	かかれて いる ことを たしかめよう	【知技】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
			【思判】「読むこと」において，場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えている。
			【主体】進んで場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉え，学習の見通しをもって考えたことを発表したり文章にまとめたりしようとしている。
	#	しゃしんと 文から，だれが なにを したかを たしかめよう	【知技】身近なことを表す語句の量を増し，言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き，語彙を豊かにしている。
			【思判】「読むこと」において，時間的な順序や事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉えている。
			【思判】「読むこと」において，文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。
3 学 期	1	ぶんしょうと えを あわせて よもう	【主体】進んで時間的な順序や事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉え，学習の見通しをもって分かったことを説明しようとしている。
			【知技】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
			【思判】「書くこと」において，経験したことや想像したことなどから書くことを見付け，必要な事柄を集めたり確かめたりして，伝えたいことを明確にしている。
	2	きいた ことを 正しく つたえよう	【思判】「読むこと」において，場面の様子や登場人物の行動など，内容の大体を捉えている。
			【主体】進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し，学習の見通しをもって考えた言葉を発表しようとしている。
			【知技】読書に親しみ，いろいろな本があることを知っている。
	3	つたえたい ことを おもい出して かこう	【思判】「読むこと」において，場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像している。
			【主体】進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し，学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。
			【知技】言葉には，事物の内容を表す働きや，経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
3 学 期	1	ぶんしょうと えを あわせて よもう	【思判】「書くこと」において，自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
			【思判】「読むこと」において，文章の内容と自分の体験とを結び付けて，感想をもっている。
			【主体】積極的に文章の内容と自分の体験とを結びつけて，学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
	2	きいた ことを 正しく つたえよう	【知技】姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。
			【思判】「話すこと・聞くこと」において，伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。
			【思判】「話すこと・聞くこと」において，話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き，話の内容を捉えて感想をもっている。
	3	つたえたい ことを おもい出して かこう	【主体】進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し，今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。
			【知技】長音，拗音，促音，撥音などの表記，助詞の「は」，「へ」及び「を」の使い方，句読点の打ち方，かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
			【思判】「書くこと」において，語と語や文と文との続き方に注意しながら，内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
3 学 期	1	ぶんしょうと えを あわせて よもう	【主体】積極的に文章に対する感想を伝え合い，学習の見通しをもってよいところを伝え合おうとしている。
			【知技】言葉には，事物の内容を表す働きや，経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
			【思判】「書くこと」において，自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
	2	きいた ことを 正しく つたえよう	【思判】「読むこと」において，文章の内容と自分の体験とを結び付けて，感想をもっている。
			【主体】積極的に文章の内容と自分の体験とを結びつけて，学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
			【知技】姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。
	3	つたえたい ことを おもい出して かこう	【思判】「話すこと・聞くこと」において，伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。
			【思判】「話すこと・聞くこと」において，話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き，話の内容を捉えて感想をもっている。
			【主体】進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し，今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。